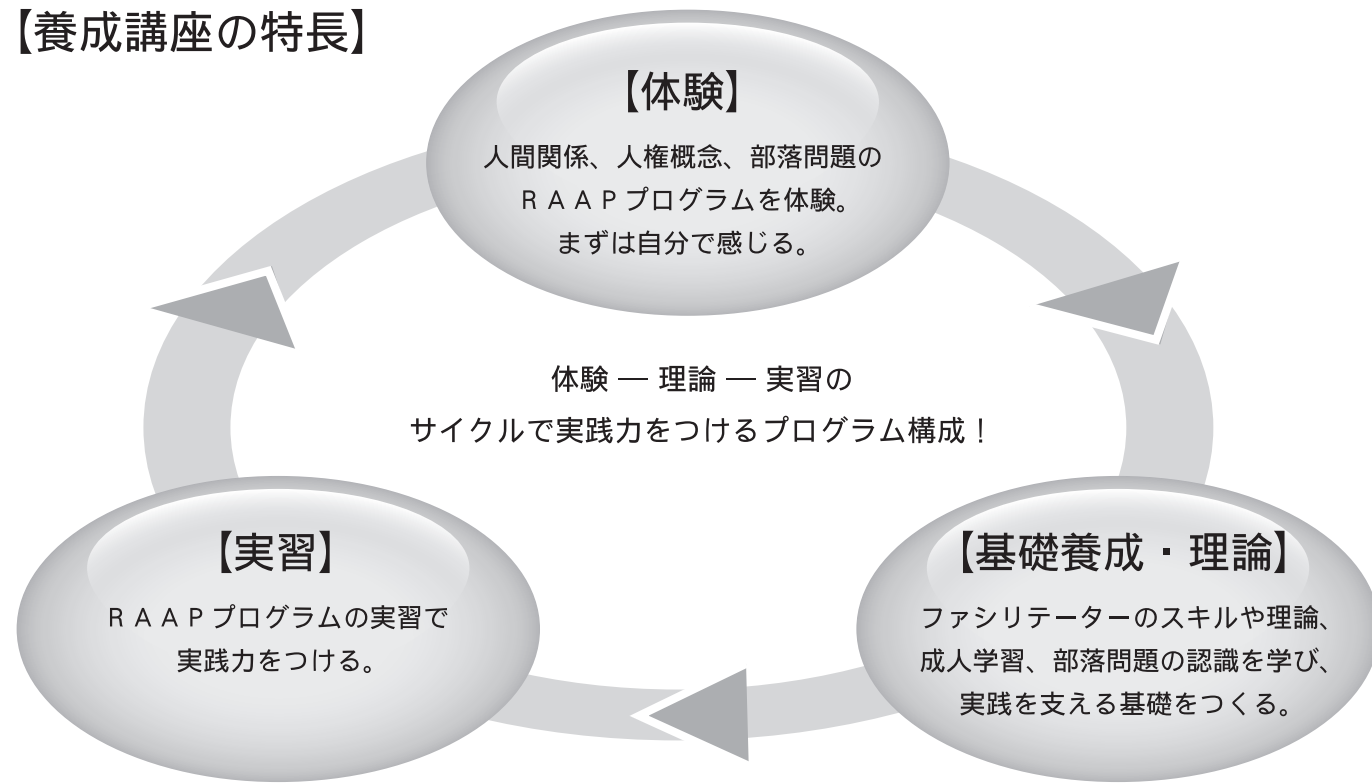


【養成講座の特長】



共に学ぶネットワークづくりと実践につなげるサポート

- ☑ スキルアップ研修で、終了後も学べる場を提供。
- ☑ 経験交流を行い、実践の成功や失敗などの経験交流と、情報交換や相互アドバイスの場をつくります。
- ☑ 講師も共に実践に向けた課題解決を共有するなど、参加者と講師をネットワークングします。
- ☑ 当協会の運営する「講師・ファシリテーターバンク」にご登録いただけます。当協会が受けた研修相談講師に、必要に応じてご紹介させていただきます。

【問い合わせ・申込先】

財団法人大阪府人権協会 RAAP 養成講座事務局

〒552-0001 大阪市港区波除 4-1-37HRC ビル 8 階

【TEL】 06-6581-8613 【FAX】 06-6581-8614

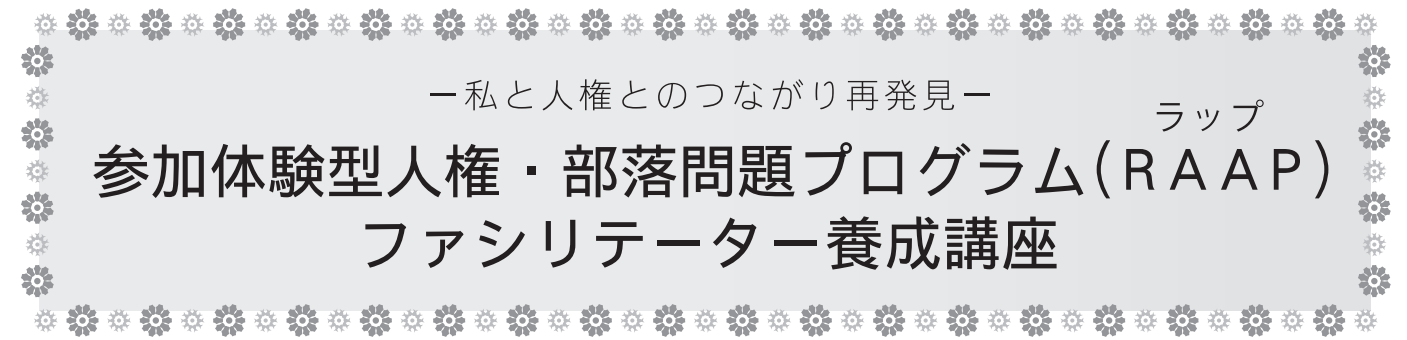
【Email】 info@jinken-osaka.jp

【URL】 <http://www.jinken-osaka.jp/>

主催 財団法人大阪府人権協会

人権に関する啓発と相談・支援、その人材養成とネットワークづくりに取り組み、人権が尊重される豊かな社会の実現をめざしています。

* この事業は、大阪府「新しい公共支援事業」を活用した『新しい公共としての人権 NPO 等創造事業』として実施します。



「人権学習や研修がマンネリ…」
「問題だと思ふ発言が出るかも、と思うと不安」
「一方通行ではない学習の場で人権や部落問題を学びたい」



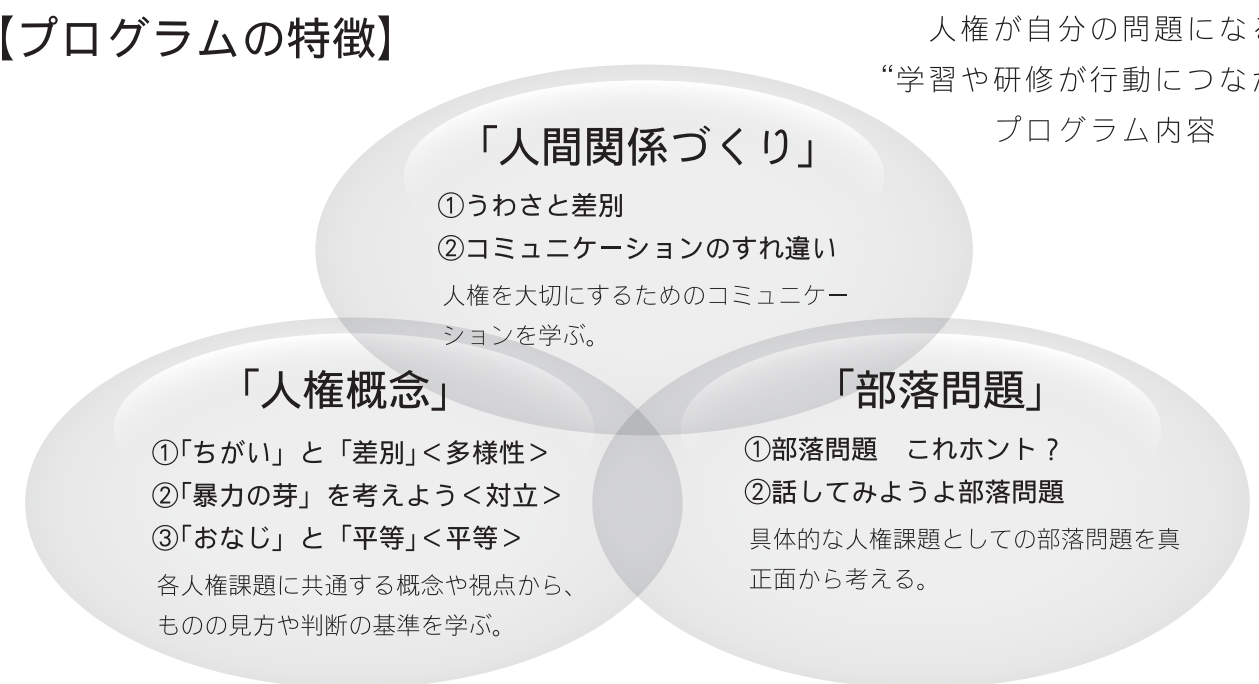
そうだ
RAAP を学ぼう

人は成長過程でたくさんのことを学びます。自分を豊かにしてくれることだけではなく、気づかないうちに偏見や決めつけなど差別につながることも学んできた私たちです。

参加体験型学習では自分を見つめ、ほぐし、人権に関する問題を学びなおすことができます。

“差別はいけない”でも、“私は差別してない”ではなく、“差別はおかしい”という気持ちを行動に移せる人がたくさんいるときっと住み心地のよい社会になる。そんな学習や研修をつくりたい。その思いから R A A P プログラムは生まれました。

【プログラムの特徴】



体験を通じて学び、行動に結びける参加体験型学習で人権と自分をつなぐ



「人間関係」「人権概念」「部落問題」の3つの柱で人権と自分とをつなぎます。
「学びから行動へ」人権に基づいた行動につながります。
メンタルヘルスやセクハラ、パワハラなどさまざまな人権学習にも応用。



【開催趣旨】

現代社会では、いじめや排除、差別や暴力などの人権侵害が大きな問題となっています。これを克服するために、人権意識を高めるための人権教育や人権啓発が進められており、その中で人権学習や人権研修（「人権学習」といいます）がますます重要になっています。

しかし、これまでの学習では、講演を聴いても人権問題が自分とは遠い問題のように捉えられたり、自分にひきつけるための参加体験型学習の導入が、ただ楽しいだけの学習に終わったり、といったことはありませんか？ こんな悩みを解決するために、参加型人権・部落問題プログラム（RAAPプログラム）はつくられました。

このプログラムは、“人権尊重の人間関係づくり”と、“人権問題に共通する人権概念”、そして、“具体的な問題である部落問題”の、3つの柱からなっています。これによって、人権と自分とのかかわりに気づき、人権のルールとしての人権概念を身につけて、人権問題の解決に向けでどう行動し、社会に参画するのかを探究します。

「自分と人権問題とが繋がった」「人権のために何かをしよう」そんなことが学べる人権学習を、私たちとともに創造しましょう！

皆さんのご参加をお待ちしています。

講師



上杉孝實

（京都大学名誉教授）



大谷真砂子

（じんけん楽習塾）



栗本敦子

（Facilitator's LABO）
〈えふらぼ〉



森実

（大阪教育大学）

ラップ RAAP とは

- R**ights （権利）… 自分と人権・部落問題とのつながりを見つけ
- A**ction （行動）… 職場や地域、学校などで、人権を守る行動に結びつく学習を
- A**ctive Learning （参加型学習）… 参加体験型学習で展開し、
- P**articipation （参画）… 行動化を通じて社会に積極的に関わるなど、人権への取組みを進める

という学習をめざし開発されたプログラムです。

人間関係、人権概念、部落問題のプログラムが実施できるファシリテーターの養成を行います。

参加者の声



講師との距離が至近で、なんでも気楽に質問ができて、受講生の皆さんも個性豊かで、熱心でとっても中身の深い充実した講座でした。



経験学習の4段階や成人学習のポイントなど理論の部分について、今後とても役立つと思いました。



部落問題について正面から向きあうセミナーができそうな気になりました。



【会場】



HRC ビル 大阪市港区波除 4-1-37

（最寄駅：JR 大阪環状線・大阪市営地下鉄「弁天町」）

JR 大阪環状線 弁天町駅北口より

徒歩 8 分 北東へ約 700m

地下鉄中央線 弁天町駅 4 番出口より

徒歩 10 分 北東へ約 850m

【修了証】

講座の全日程に参加された方には「修了証」を発行します。

* 欠席された部分は、次回と次々回の養成講座で当該か所を受講いただければ、修了証を発行します。

【定員】

40 人程度（先着順）

【参加・資料代】

50,000 円

NPO・団体等は 25,000 円

（NPO・団体等は実践報告の提出が必要です。）

*1 キャンセルは、キャンセル料を申し受けます。

*2 支払いは分割払い等可能ですのでご相談ください。

*3 当協会賛助会員の方は参加・資料代の割引があります。

【養成講座の日程と内容】*時間は 10 時～17 時

2012 年	内容	講師
1 月 28 日 (土)	オリエンテーション、ルールづくり	栗本敦子さん
	【体験】人間関係①「うわさと差別」	大谷真砂子さん
	【理論】ワークショップとは？ファシリテーターとは？	栗本敦子さん
1 月 29 日 (日)	【体験】部落問題①「部落問題 これホント？」	栗本敦子さん
	【理論】人権について深める①「人権と社会構造、特権」	栗本敦子さん
	【体験】人間関係②「コミュニケーションのすれ違い」	大谷真砂子さん
2 月 4 日 (土)	【理論】成人学習とは	上杉孝實さん
	【理論】人権について深める②「感情」	大谷真砂子さん
	【体験】部落問題②「話してみよう部落問題」	森実さん
2 月 5 日 (日)	【理論】「部落問題の認識」	森実さん
	【実習】実習に向けた準備	
	実習①「話してみようよ部落問題」	
2 月 11 日 (土)	【実習】実習②～④ プログラム・人権概念 「ちがい」と「差別」＜多様性＞ 暴力の芽を考えよう＜対立＞ 「おなじ」と「平等」＜平等＞	大谷真砂子さん 栗本敦子さん
2 月 12 日 (日)	【理論】人権ファシリテーターとは？	栗本敦子さん
	実践に向けて①②	上杉孝實さん 大谷真砂子さん 栗本敦子さん

